

腕自慢が集う対局室

関宿出身の有名な人では、終戦時の内閣総理大臣を務めた鈴木貫太郎と並んで、必ず名が挙がるのが関根金次郎。大正時代に名人位の實力制を制定するなど、近代将棋界の隆盛に貢献しました。その生い立ちと業績を紹介しているのが、いちいのホール5階にある「野田市関根名人記念館」です。中原誠十六世名人、森内俊之永世名人たちをはじめ、多くの棋士がここを訪ねています。

「金次郎は、映画『王将』のモデルである阪田三吉の終生のライバルとしても知られた人です。小学生のころから、



野田市関根名人記念館の入口で

近隣では大人でもかなう者がないほどの實力を示し、『宝珠花小僧』と呼ばれていました」

展示室の隣には、公共の施設としては非常に珍しく、40人以上が一堂に会せる対局室も備えられています。

「私の所属する日本将棋連盟関根金次郎支部は、名人の名前をそのまま支部名にしていますが、個人名がつく支部は日本で唯一です。私も5級なのですが、強い人が多いのでなかなか勝てませんね」

地元の歴史を伝えたい

芝田さんが最後に向かったのは市の最北端、利根川と江戸川の分流点に位置する県立関宿城博物館。お目当ては、天守閣の4階にある展望室です。



対局室は無料で利用できます

「川の眺めはここからが最高。周りの遊水地は、大雨が降ると一夜にして広大な湖に変貌します。タヌキ、キジ、トビ、カモなどの生き物も多く、自然が保たれています」

中洲の一角にある中の島公園は、関東有数のコブシの大木で有名。テレビなどで紹介されて以来、大勢の人が訪れるようになりました。

「川の影響で気温が低いのか、市内よりも開花は遅いのですが、満開のときは真っ白に映えて、関宿城博物館の展望室からも一目で分かるほど。ここは桜も多いので、よく家族や友人たちとお花見に来ました」

地元の歴史と風土に深い愛着を持つ芝田さん。これから生まれ育った関宿の良さを、もっと深く勉強して案内していきたいと情熱を傾けています。



なお、芝田さんが所属する「むらさきの里 野田ガイドの会」(染谷 慧会長)では、コースや時間、人数もご希望どおりに市内の見どころを無料でガイドします。希望日の1週間前までに同会(野田市郷土博物館内 ☎ 04-7124-6851)までお申込ください。